



セブンアイランド愛

第193期 事業報告書

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで



証券コード：9173

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第193期（平成29年1月1日から平成29年12月31日まで）の当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や所得・雇用情勢が堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、欧米における政策の不確実性など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、見通しが立たない原油価格の動向や近年の台風の進路の変化などがあり、依然として厳しい状況が続いております。また、営業基盤である東京諸島においては、全般的に少子高齢化の波は本土より進み、人口減少に歯止めがかからない状況となっております。長期的な漸減傾向は観光客の動向にも表れております。

このような状況の下、当社グループは、「Spring Up 2017～将来への芽を出す」をスローガンに掲げ、事業の活性化と観光需要の掘り起こしに全社を挙げて取り組みました。東京諸島の島や海などの豊かな自然と星空の魅力の発信に努め、年間を通じて東京の島ならではの多様な企画商品を造成しました。また、大島の最大イベント「椿まつり」においてはPR活動を積極的に展開し、さらに夏場の最多客期には旅行会社との連携を深めて販売活動を強化したことにより、旅客数は好調に推移しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、ジェットフォイルを導入した平成14年に次ぐ旅客数となり、売上高は114億4千2百万円（前期111億7千4百万円）、営業利益は5億2千3百万円（前期4億1千4百万円）、経常利益は5億5千4百万円（前期4億8千万円）、税金費用などを計上した後の親会社株主に帰属する当期純利益は3億9千3百万円（前期3億5千3百万円）となりました。

また、個別業績につきましては、売上高は92億7千3百万円（前期90億1千万円）、営業利益は4億1千万円（前期2億5千9百万円）、経常利益は4億6千1百万円（前期3億3千4百万円）、税金費用を計上した後の当期純利益は3億3千8百万円（前期2億5千7百万円）となりました。

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、財務体質の向上を図りながら、内部留保の充実にも留意しつつ、安定配当の維持に努めることを利益配分の基本方針としております。

平成29年12月期の当社の期末配当につきましては、経営環境に不確定要素が多いとして、配当予想を未定としておりましたが、今後の事業環境や企業基盤の強化のための内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり20円の配当を実施する方針といたしました。

今後のわが国の経済は、政府の経済対策の影響や、底堅い内需を背景に景気は緩やかに回復基調が続くと見られておりますが、原油価格の動向や、為替相場の変動など、当社グループにとりましては予断を許さない環境が続くものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは、基本理念である「安全運航」の徹底と「良質のサービスの提供」のもとに、次期については、新しいステージ（創立130周年、ジェットフォイル、貨客船の新造・就航）に向かって、東京諸島の島や海などの豊かな

自然と「プラネタリウム・アイランド」として注目されている星空の魅力の発信に注力し、観光需要の掘り起こしに努めてまいります。また、安全確保は最大のサービスであるとの基本意識に立ち、関係法令を遵守し、安全最優先に全力をあげて取り組みます。

主力事業分野である海運関連事業のうち、旅客部門はよりお客様のニーズに合った東京の島ならではの企画商品を造成し、リピーターの確保に努めてまいります。また、引き続き「椿まつり」においては、「国際優秀つばき園」と伊豆方面の花のイベントをつないだ「海のフラワーライン」の営業展開を図ります。臨時航路では、「船旅活性化モデル地区」の運用でさらなる旅客の獲得を目指すとともに、訪日外国人利用客の集客活動に努めて乗船客の増加と増収を図ります。一方、貨物部門では、輸送品目の拡大による新規輸送の獲得を目指すほか、引き続き各島の公共工事等の動向を注視し、集荷に遺漏がないように営業を強化するとともに、貨物輸送の品質管理向上や貨物船の効率的な配船を実施してまいります。

商事料飲事業は、新たな収益の柱となる事業拡大に努めるとともに、グループ間の連携の強化による船舶レストラン、竹芝客船ターミナル内の売店やレストラン「鰐甲鮓（べっこうずし）」の利用客の増加を目指してまいります。

レストラン事業では、平成30年12月に創立30周年を迎える東京湾周遊の東京ヴァンテアンクルーズが専門紙主催の「第1回 プロが選ぶ水上観光船30選」において第2位となり、その道のプロにも高く評価されました。引き続き船内サービスのさらなる向上に取り組み、ホームページをはじめとする情報発信力と営業活動の強化を行ってまいります。

ホテル事業については、大島の豊富な海の幸の料理・高品質の源泉掛け流し温泉・露天風呂からの三原山の眺望に加えて、ホテル屋上に星空を観望できる「三原山テラス」の施設など、「島の魅力」を前面に押し出した営業活動に努めてまいります。また、引き続き旅客部門との連携の強化による企画商品の充実やサービスの向上を図ります。

旅客自動車運送事業では、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定のもと、安全運行に努めてまいります。また、引き続き企画商品の充実を図り、「椿まつり」の団体利用客や定期観光バス、星空観望バスなどの利用客の増加を目指してまいります。

以上のとおり、各部門に亘って業績向上を図るため、一層の努力をいたす所存であります。株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対し、従来と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山崎潤一

連結決算ハイライト 第193期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

連結売上高

114億42百万円
(対前期比2.4%増)

連結営業利益

5億23百万円
(対前期比26.3%増)

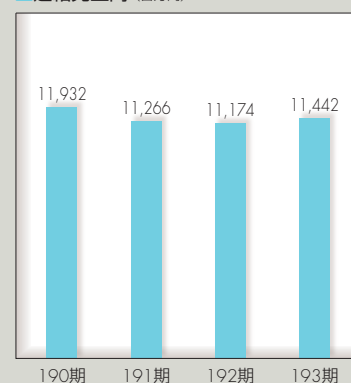
連結経常利益

5億54百万円
(対前期比15.2%増)

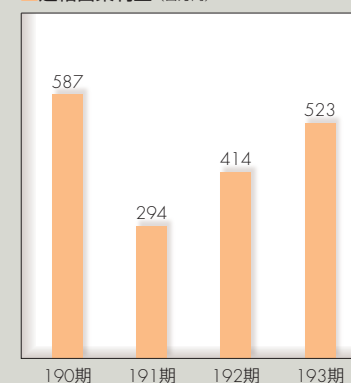
親会社株主に帰属する当期純利益

3億93百万円
(対前期比11.4%増)

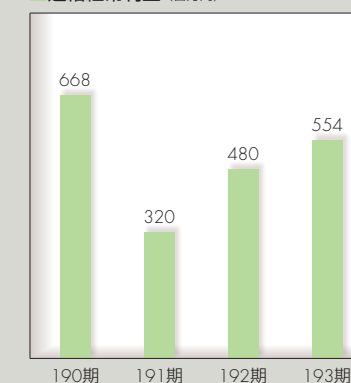
連結売上高 (百万円)



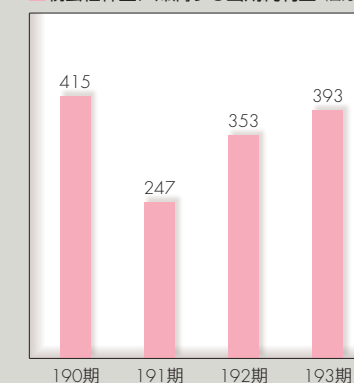
連結営業利益 (百万円)



連結経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



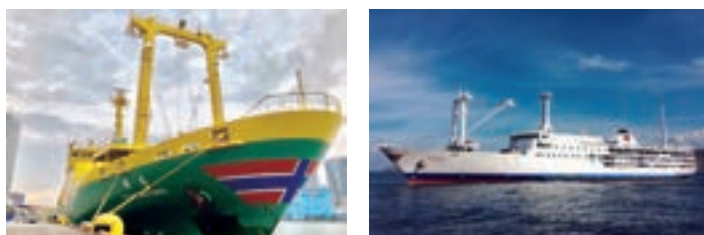
海運関連事業

売上高
8,543百万円
(対前期比 4.4%増)

営業利益
847百万円
(対前期比 31.3%増)

主力の海運関連事業の旅客部門は、「椿まつり」において平成28年に認定された「国際優秀つばき園」と伊豆方面の花のイベントをつないだ「海のフラワーライン」の営業展開を図り、団体客・個人客を好調に集客しました。また、企画商品では、「三原山ハイキング」などの商品や東京諸島の星空をテーマにしたキャンペーン展開に取り組み、臨時航路では、千葉港から大島への運航日数を「船旅活性化モデル地区」の運用で増やし、旅客数の増加に繋がりました。さらに夏場の最多客期には大島のあじさいや星空観望などの企画商品に加え、旅行会社とより一層の連携を深めて販売活動を強化しました。この結果、夏から秋にかけての天候不順による影響があったものの、全航路の旅客数はジェットフォイルを導入した平成14年に次ぐ88万3千人（前期85万人）となりました。一方、貨物部門は、一部の島において公共工事関連の輸送が減少したことにより、貨物取扱量は全島で28万8千トン（前期31万6千トン）となりました。

この結果、当事業の売上高は、85億4千3百万円（前期81億8千3百万円）、営業利益は8億4千7百万円（前期6億4千5百万円）となりました。



商事料飲事業

売上高
1,472百万円
(対前期比 5.9%減)

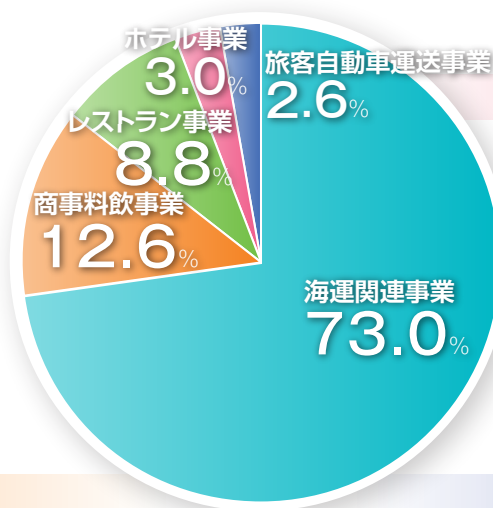
営業利益
125百万円
(対前期比 17.4%減)

当事業の中心となる商事部門は、一部の島での公共工事の減少により、島嶼向けのセメント販売が減少しました。また、料飲部門の「東京湾納涼船」は、天候不順による影響を受けたため、売上が減少しました。この結果、当事業の売上高は14億7千2百万円（前期15億6千4百万円）、営業利益は1億2千5百万円（前期1億5千2百万円）となりました。



レストラン「艦甲鯨」

売上高 構成比



レストラン事業

売上高
1,030百万円
(対前期比 3.1%減)

営業利益
34百万円
(対前期比 16.8%減)

東京湾周遊のレストランシップ事業は、インターネットによる情報発信力の強化や予約システムの改善などにより、個人客は増加しましたが、婚礼および団体客が伸び悩み、全クルーズでの利用客数は11万7千人（前期11万8千人）となりました。この結果、当事業の売上高は10億3千万円（前期10億6千3百万円）、営業利益は3千4百万円（前期4千2百万円）となりました。

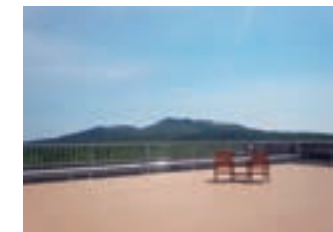


ホテル事業

売上高
358百万円
(対前期比 9.8%増)

営業利益
14百万円
(対前期比 11.6%減)

大島温泉ホテル事業は、旅客部門との連携の強化により、「椿まつり」や「三原山ハイキング」などの企画商品の利用客が好調に推移しました。また、ホテル屋上に星空を観望できる「三原山テラス」を設置し集客に努めました。この結果、当事業の売上高は3億5千8百万円（前期3億2千6百万円）となりました。一方、費用面では施設整備費用などの増加があり、営業利益は1千4百万円（前期1千6百万円）となりました。



旅客自動車運送事業

売上高
305百万円
(対前期比 6.8%増)

営業利益
△18百万円
(対前期比 -%)

当事業の中心となる大島島内におけるバス部門は、「椿まつり」の団体利用客や「あじさいツアー」など、企画商品の利用客が好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は3億5百万円（前期2億8千5百万円）となりました。一方、費用面では車両整備費用などの増加があり、営業損失は1千8百万円（前期営業利益7百万円）となりました。なお、定期路線バスにおいては大島町からの継続的な支援を受けております。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 (平成29年12月31日現在)	前期 (平成28年12月31日現在)
●資産の部		
流動資産	3,701	3,708
固定資産	10,719	9,658
有形固定資産	8,728	7,719
無形固定資産	95	113
投資その他の資産	1,896	1,824
資産合計	14,421	13,366
●負債の部		
流動負債	2,874	2,716
固定負債	6,237	5,717
負債合計	9,112	8,433
●純資産の部		
株主資本	5,004	4,654
資本金	1,100	1,100
剰余金	3,913	3,563
自己株式	△9	△9
その他の包括利益累計額	152	116
非支配株主持分	152	161
純資産合計	5,309	4,933
負債純資産合計	14,421	13,366

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで)	前期 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで)
売上高	11,442	11,174
売上原価	9,546	9,412
売上総利益	1,896	1,762
販売費及び一般管理費	1,372	1,347
営業利益	523	414
(営業外収益)	121	168
(営業外費用)	91	101
経常利益	554	480
(特別利益)	-	10
税金等調整前当期純利益	554	491
税金費用	158	129
当期純利益	395	361
非支配株主に帰属する当期純利益	2	8
親会社株主に帰属する当期純利益	393	353

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで)	前期 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,175	910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	△422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146	△910
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28	△421
現金及び現金同等物の期首残高	1,622	2,044
現金及び現金同等物の期末残高	1,593	1,622

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

12月31日現在および6月30日現在の100株以上ご所有の株主各位に次の通り株主乗船割引券および株主サービス券を発行しております。

●権利確定日および有効期間等

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		↑				↑		↑			↑	
		株主優待発送 (有効期限：4月1日～9月30日)				権利確定日			株主優待発送 (有効期限：10月1日～翌年3月31日)			↑

株主乗船割引券
●発行方法

所有株式数	100株～199株	200株～399株	400株～599株	600株以上
発行枚数	10枚	20枚	30枚	40枚

●優待内容

- ・全航路の全等級について、お一人様乗船一区間につき乗船割引券1枚にて所定運賃の35%引(7月、8月のご乗船は25%引)とします。ただし、島嶼において同日に同一方向の他の船に乗り継いでご利用になる場合に限り一区間として発売します。この場合、区間内の乗船券を同時にご購入下さい。
- ・東京湾納涼船(平成30年6月29日～平成30年9月24日運航)について、**大人お一人様乗船割引券1枚にて1,000円でご利用いただけます。**但し、中高生料金、小学生料金の割引はありません。
- ・有効期間内に乗船券をご購入下さい。

株主サービス券
●発行方法

- ・100株以上保有されている株主様に、株主サービス券を一律1冊発行致します。

●優待内容

種類	内容	枚数
東海汽船 企画旅行15%割引券	東海汽船(株)が企画・実施する旅行商品(日帰り・宿泊とも)を15%割引でご利用いただけます。但し、特別プラン、延泊ならびにオプション(タクシー観光、バス観光、レンタカー、ダイビング、各種体験等)は対象外となります。	各5枚
大島温泉ホテル 宿泊50%割引券	大島温泉ホテルをご宿泊(1泊2食付)基本料金の50%割引でご利用いただけます。	
大島温泉ホテル 朝食休憩割引券	大島温泉ホテルの温泉ご入浴と朝のお食事ができる休憩料金(通常料金おとな：2,000円・こども1,600円)を500円割引(こども300円割引)にてご利用いただけます。	
レストランシップ 「ヴァンテアン」30%割引券	レストランシップ「ヴァンテアン」の各クルーズセット料金を30%割引でご利用いただけます。	
東海汽船グループ ショップ・売店15%割引券	竹芝客船ターミナル内売店「ショップ竹芝」、大島元町港・岡田港船客待合所内売店、大島温泉ホテル内売店にて、お買い上げ金額の15%割引でご利用いただけます。ただし、切手や印紙類・新聞書籍・酒類・煙草・その他一部商品を除きます。また、岡田港船客待合所内売店の一部店舗は割引対象外となります。	
竹芝客船ターミナル内 レストラン「鱈甲鮠」割引券	竹芝客船ターミナル内レストラン「鱈甲鮠」のランチメニュー・島々弁当を200円割引にてご利用いただけます。ただし、お飲み物・サイドメニュー等は割引対象外となります。	
大島島内路線バス 1日乗車券・2日乗車券割引券	大島島内で運行する路線バスが乗り降り自由となる1日乗車券(通常料金おとな2,000円・こども1,000円)をおとな1,800円・こども900円にて、2日乗車券(通常料金おとな3,000円・こども1,500円)をおとな2,700円・こども1,400円にてご利用いただけます。	

■会社概要 (平成29年12月31日現在)

商号 東海汽船株式会社 (証券コード 9173)
 本社 東京都港区海岸1丁目16番1号
 創立 明治22年11月15日
 資本金 11億円
 従業員数 342名

■株式の状況 (平成29年12月31日現在)

発行可能株式総数.....880万株
 発行済株式の総数.....220万株
 株主数.....6,551名

■大株主 (平成29年12月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
藤田観光株式会社	446千株	20.32%
DOWAホールディングス株式会社	150千株	6.83%
株式会社みずほ銀行	52千株	2.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	51千株	2.32%
三菱重工業株式会社	50千株	2.27%
JXTGホールディングス株式会社	50千株	2.27%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	37千株	1.68%
みずほ信託銀行株式会社	35千株	1.59%
内海造船株式会社	33千株	1.50%
東海汽船従業員持株会	24千株	1.13%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式 (4,954株) を控除して計算しております。

■役員 (平成30年3月27日現在)

代表取締役社長 山崎潤一
 専務取締役 石川寛治
 取締役 齊藤昌哉
 取締役 石渡恒夫
 取締役 若林英一
 取締役 横田清美
 取締役 櫻井薫
 常勤監査役 鈴木正
 常勤監査役 牧野龍裕
 監査役 池田雄二郎
 監査役 宇田川秀人

■株主メモ

事業年度 毎年1月1日～12月31日
 定時株主総会 3月
 基準日 12月31日
 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日。
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 〒168-8507
 郵送物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電子公告 (公告掲載URL <http://www.tokaikisen.co.jp/>)
 公告方法 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 その他ご不明な点は、株主名簿管理人0120-288-324 (フリーダイヤル) へお電話下さい。

■株式に関するお知らせ

「特別口座」について

株券電子化に際して、株主様が証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかったご所有の当社株式は、みずほ信託銀行にて開設した特別口座 (※) にて管理されています。
 特別口座においては、株式を売買することができない (単元未満株式の買取を除く) など、株主様にご不便をおかけすることがあります。お手続きを円滑に行うためにも「特別口座」から「証券会社等の口座」へのお振替申請をお勧めいたします。(予め証券会社等での口座開設が必要です)
 振替手続の申請、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。

(※) 「特別口座」とは
 株券電子化に伴い、証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかった株券について、株主様の権利を保全するため、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

単元未満株式の買取について

当社では、証券市場で株式を売買できる取引単位を100株単位 (1単元) とさせていただいており、単元未満株式 (1~99株) は証券市場においては売買することができません。
 そこで、株主様がご所有の単元未満株式を当社が買取らせていただく制度がございます。単元未満株式をご所有の株主様は、この制度のご利用をご検討いただきますようご案内いたします。
 買取制度のお手続にあたっては、所定の手数料 (会社が定める買取手数料) が必要となります。
 単元未満株式買取制度のご利用、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。

お問合せ先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324

☆本ご案内 (ご説明) は、株式に関する諸手続についてご案内 (ご説明) するものです。特定の証券会社との取引勧誘や単元未満株式の買取請求の勧誘を目的とするものではありません。お振替、単元未満株式買取請求に関しては、株主様ご自身にてご判断いただきますようお願い申し上げます。

ホームページのご案内



<http://www.tokaikisen.co.jp/>

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っていますのでぜひご利用下さい。
 また、船の時刻、運賃、当社企画旅行情報、各島の情報を当社SNS等で公開しておりますので、合わせてご利用下さい。

1月



3代目マスコットガールの橘みづほが海上保安部一日保安部長に任命され、海上保安庁の巡視艇「まつなみ」で東京港内のパトロールを行いました。



1月

お客様へのサービス向上の一環として大型客船、ジェット船の全船にFree Wi-Fiを設置しました。

2月

日本食糧新聞社主催の「ファベックス惣菜べんとうグランプリ2017」において、「島島弁当」が総数1,202品の中から金賞18品に次ぐ優秀賞に選ばれました。



3代目マスコットガールの橘みづほが八丈島で春の全国交通安全運動キャンペーンに参加しました。交通少年団の子ども達による演奏もあり、華やかなパレードとなりました。



4月

大島温泉ホテル屋上に『三原山テラス』完成！夕陽に照らされる三原山や、夜には天然のプラネタリウムをご覧ください。星空講習会なども開催されています。



6月



5月

2020年にジェットフォイルの建造を決定しました。ジェットフォイルの建造は、国内では1995年以来、25年ぶりに行われることとなり、当社で所有するジェットフォイル4隻のうちの1隻「セブンアイランド虹」(1981年竣工、281トン)の代替となります。カラーリングとネーミングをアーティストの野老朝雄(とことろ・あさお)氏に依頼しました。



6~10月

東京湾納涼船2017では、ご年配や浴衣のお客様にも快適にパーティプランを利用いただけるよう、テーブル・椅子付の個室が新しく登場しました。

7月

プラネタリウムアイランド・スペシャルクルーズ運航！七夕に合わせてクルージング中の東京湾の海上で星を満喫していただきながら、デッキごとにお楽しみいただける星や月にまつわるイベントが楽しめるクルーズを初めて運航しました。



9月

さるびあ丸乗組員が近海の海洋情報を提供した功績が認められ、海上保安庁より感謝状と盾を授与されました。



10月

神新汽船がめでたく創立40周年を迎えました。



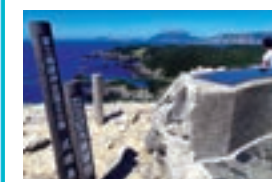
11月

2020年に貨客船の建造を決定しました。およそ、6,000トンクラスとなり、さるびあ丸の代替となります。カラーリングをジェット船と同じくアーティストの野老朝雄氏に依頼しました。



島ナビVOL.4 式根島

面積 3.9km²
周囲 12km
東京・竹芝より171km



カンビキ山展望台
新東京百景に指定されており、北に伊豆半島や富士山、南に三宅島、御蔵島、神津島・・・。晴れ渡る日には360度の大パノラマがお目見えします。



泊海水浴場
ミズ存在を忘れてしまうほどの透明度と扇状に広がる美しい海岸線を誇るビーチは「日本の水浴場88選」にも選ばれました。



松が下雅湯
足湯が備え付けられたひょうたん形の湯船と独特の風情が特徴です。源泉は筋肉痛や冷え性などに効果があるとされています。24時間、年中無休、無料でいつも楽しめます。

鼈甲鮓

ファベックス惣菜べんとうグランプリ2017で優秀賞を受賞！

日本食糧新聞社主催の「ファベックス惣菜べんとうグランプリ2017」において、「島島弁当」が総数1,202品の中から金賞18品に次ぐ優秀賞に選ばれました。

平日のランチにはこだわりの8種類の豆から出汁を取り、和風出汁と野菜出汁を合わせ、温かい野菜をイメージした「やさいポトフ」と一緒にメインメニューとなる「べっこう寿司」、「べっこう焼飯」をお楽しみいただけます。

メニュー例	べっこう寿司+やさいポトフ+プチトマトの天ぷら	1,000円
	べっこう焼飯+やさいポトフ+プチトマトの天ぷら	1,000円
	島島弁当	700円

営業時間 平日11:30~15:00

お問い合わせは 東汽商事株式会社 TEL 03-3433-4820



東京湾クルーズ・レストランシップ

ヴァンテアン

TOKYO BAY CRUISE RESTAURANT SHIP VINGT ET UN

～特別な日は、海の上で～

東京湾クルージングと共に楽しみいただくのは、季節の食材を盛り込んだフレンチコース料理。厳選された食材を使用した船内調理によるシェフ自慢の味わいをお楽しみください。ヴァンテアンクルーズが海の上での最高の瞬間に、最高のお料理をお届けいたします。

各種クルーズ・プランのお問い合わせは 東京ヴァンテアンクルーズ株式会社 TEL 03-3436-2121

伊豆大島・三原山温泉源泉かけ流しの湯

大島温泉ホテル

～三原山を望む最高のロケーション～

雄大な三原山を望む源泉かけ流し温泉で、体も心もリラックス。

黒潮の恩恵を授かる伊豆の海はヘルシー新鮮素材の宝庫。

大島特産の椿油で新鮮な魚介類を揚げる名物「椿フォンデュ」、大島の近海で水揚げされる新鮮な金目鯛を使った「金目鯛のしゃぶしゃぶ」など、それぞれのプランで大島の海の幸をお楽しみいただけます。

各種ご宿泊・ご入浴のお問い合わせは 大島温泉ホテル TEL 04992-2-1673

